

いのち いちばん



謹賀新年

あけましておめでとうございます。



昨年は保護者・地域の皆さま方のご支援のおかげで、児童一人ひとりが大きな事件・事故に遭うことなく元気に過ごすことができました。皆さま方には心より感謝申し上げます。

本年も今福小の校訓「和協」、そして「いのち いちばん、にこにこ にばん、三つ みんなでがんばろう」の精神で精一杯頑張りますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。

児童朝会での校長講話（2017 年を振り返って）

本校では毎週月曜日に児童朝会があり、校長から話をするようになっていました。私はこれまで高校生を前に全校朝会で話をしてきましたが、1年生から6年生までの年齢差がある小学生に向けて話をするのは初めてでもあり、短時間で一体何を話せばよいのか少し戸惑いました。

これまでの主なテーマは、「私の宝物（蝶類図鑑と一枚の絵葉書）」、「いじめ」、「あいさつの大切さ」、校訓「和協」の精神、「室戸台風で犠牲になった本校児童」、「私の机」、「ALT との英会話」などでしたが、振り返ると、次に挙げるように、私が小学生時代に影響を受けたエピソードを多く語っていたようです。

- ・小学校時代の担任の先生方から受けた影響
- ・4年生の時から夢中になった蝶採集と何度も読み返した「原色日本蝶類図鑑」のおかげで漢字、昆虫、植物、英語の知識が広がったこと
- ・小学2年生だった1964年に開催された「東京オリンピック」で、女子バレーボールチームが「東洋の魔女」と呼ばれ、「回転レシーブ」で世界を驚かせ、金メダルを獲得した瞬間と当時白黒テレビで家族8人が熱狂しながら観戦したこと（瞬間視聴率はなんと約70%！！）
- ・約55年前、テレビ初「アニメーション」が放映され、手塚治虫の「鉄腕アトム」や「ジャングル大帝」に夢中になり、なんとなく正義、愛、友情の大切さを学んだこと。 など

私の小学生時代

ところで私の小学生時代ですが、私は和歌山県南部の田辺市という人口約8万人の地方都市で生まれ育ちました。世界遺産の「熊野古道」、「日本ナショナルトラスト運動」発祥の地「天神崎」の美しい海岸線と青い海、連綿と連なる「紀伊山地」またその山あいを流れる清流など、豊かな自然に恵まれた風光明媚なところです。また「南高梅」や日本一のミカンや柿、暖流黒潮の恵みである海産物も有名です。

私は高校卒業までこの地で育ち、両親、祖母、3人の姉、兄、私の8人が同じ家で暮らしていました。



小学生の頃、姉や兄には勉強机がありましたが、小学生だった私には専用机はなく、毎日暗くなるまで外遊びをしていました。私の家からは海・山・川がすぐそこにあり、早朝から暗くなるまで外で遊んだもので、今と違い塾通いもなく、交通量も少なく、犯罪もない田舎だったので、早朝から釣りに出かけても、虫取りに夢中になり暗くなって帰宅しても親から怒られることもなく育ちました。

このように小学生時代は、机に向かう勉強より、魚釣り、水泳、磯遊び、ウナギやアユ取り、昆虫・植物採集・飼育などを通して、「自然」の中で多くを学び、今振り返ると、そのことが今でも私の考え方や生き方に影響を及ぼしているのではないかとと思っています。

私と違い都会で暮らす児童には自然の中で遊びながら学ぶのは困難かもしれませんが、児童にとって自然体験は興味関心の宝庫ですので、本校においても可能な限りさまざまな体験をさせたいと思っています。

また一方で、都会ならではの児童の興味関心を引き起こす宝物もたくさんあります。たとえば昔にはなかったインターネットの活用で世界と即座に繋がりますし、昔は夢のまた夢であった海外旅行や国内での外国人との交流機会も多くあるように、都会には最新の科学や語学や外国について学ぶよい環境が揃っています。ですから今の児童にも外遊び（？）の学習機会は無限にあると思っています。

子どもたちはスポーツ、芸術など何かに没頭し、食事も忘れて熱中することがあります。児童によって、また時代や地域によって興味・関心も異なりますが、幼少時代に熱中したことが、その後の人生に大きな影響を及ぼし生きがいとなるとと思っています。その子が必ずしもその道で残りの人生を送るとは限りませんし、むしろ別の道で生きていく人が多いのかもしれませんが。私もあの時代に抱いた夢が実現したわけではありませんが、きっと子どもたちが大人になった時、生涯の生きる糧となり楽しみとなると思いますので、保護者の皆さまには、一所懸命頑張る子どもたちを応援してあげてもらいたいと思います。



今年も「学校だより」や公式HPでいろいろな取り組みを紹介してまいりますので、ぜひご覧いただければと思います。今後とも子どもたちが頑張る姿にご声援をお願いします。